

2019年度リハビリテーション学科主な実務家教員担当科目一覧

学科名 専攻	氏名	担当授業科目名	学科共通科目 単位数	専門科目 単位数	授業内容	資格 臨床経験年数	
リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻	鳥居 昭久	リハビリテーション概論	1		医療機関で理学療法士としての勤務経験のある教員が、リハビリテーションの概念、理念、定義について講義し、将来、理学療法士、作業療法士として就労することになる学生がリハビリテーションにおける理学療法、作業療法の位置づけ等について学ぶ科目である。	理学療法士 25年	
リハビリテーション学科 理学療法専攻	加藤 真弓	日常生活活動学		1	医療機関で理学療法士としての勤務経験のある教員が、理学療法対象者と関わる上で重要な概念である日常生活活動の概念、範囲、意義を講義し、グループワーク等を通して必要な知識を学ぶ科目である。	理学療法士 24年	
		日常生活活動学実習		1	医療機関で理学療法士としての勤務経験のある教員が、理学療法対象者と関わる上で重要な概念である日常生活活動における実際の各疾患別の動作指導等について講義し、実習やグループワークを通してその技術を修得する科目である。		
	宮津 真寿美	理学療法研究法		2	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、理学療法士として就労する上で必要になる研究の手法について講義し、学生自身は自分の研究テーマを決め、研究指導者のもと、研究計画を立案し、発表する科目である。	理学療法士 16年	
	木村 菜穂子	老年期障害理学療法		1	医療機関、介護老人保健施設で理学療法士として勤務経験のある教員が、理学療法対象者の多くを占める高齢者の特性について講義する科目である。	理学療法士 18年	
		生活環境論		1	医療機関、介護老人保健施設で理学療法士として地域・在宅理学療法に携わってきた経験のある教員が、理学療法対象者の多くを占める高齢者や障害者を支援する上で重要になる生活環境へのアプローチ方法について講義する科目である。		
	松村 仁実	中枢神経系障害理学療法治療学		1	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、理学療法対象として多く経験することになる中枢神経疾患に対する治療方法を学ぶために必要な脳の機能解剖や各疾患の病態等について講義し、グループワーク等を通してその知識を学ぶ科目である。	理学療法士 14年	
		中枢神経系障害理学療法治療学実習		2	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が理学療法対象として多く経験することになる中枢神経疾患に対する理学療法プログラムを立案できるようになることを目標に講義を行い、グループワークや実技を通してその方法を学ぶ科目である。		
	臼井 晴信	理学療法評価法		1	医療・福祉機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、理学療法を実施する上で重要な項目である評価の基本的事項を講義し、グループワークを通してその方法を学ぶ科目である。	理学療法士 10年	
	山田 南欧美	義肢装具学		1	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、障害児・者が障害を克服し、充実した日常生活を送る上で必要不可欠な手段である義肢装具についての構造、機能、評価方法等について講義し、義肢装具を処方する上で必要な知識を学ぶ科目である。	理学療法士 9年	
		義肢装具学実習		1	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、障害児・者が障害を克服し、充実した日常生活を送る上で必要不可欠な手段である義肢装具を処方、調整できるようにするために必要な実践的知識、考え方を講義し、グループワークを通してその方法を学ぶ科目である。		
	齋藤 誠	整形外科系障害理学療法治療学		1	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、理学療法士が治療対象とする整形外科系疾患の病態とそれに対する理学療法評価・治療についての知識を講義し、グループワーク等を通してその方法を学ぶ科目である。	理学療法士 8年	
		整形外科系障害理学療法治療学実習		2	医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、理学療法士が治療対象とする整形外科系疾患の病態とそれに対する理学療法評価・治療ができるようになるために、模擬症例を使用したCBL (Case based Learning)を取り入れた授業を展開し、実技やディスカッションを通してその方法を学ぶ科目である。		
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	高田 政夫	発達障害作業評価学		1	医療機関、保健センターで作業療法士として勤務経験のある教員が、発達障害領域における作業療法評価方法を実施できることを目標に、人間の各発達段階の特徴について講義する科目である。	作業療法士 24年
			発達障害作業治療学		2	医療機関、保健センターで作業療法士として勤務経験のある教員が、発達障害作業療法が対象とする各疾患の特徴や治療的関わり方について講義し、グループワーク等を通して学ぶ科目である。	
発達障害作業治療学実習				1	医療機関、保健センターで作業療法士として勤務経験のある教員の指導のもと、未就学児の発達過程や遊び、運動の特徴等を理解することを目標に、実際に保育園児との関わりを通して学ぶ科目である。		
山下 英美		老年期作業療法		1	医療機関、介護老人保健福祉施設で作業療法士として勤務経験のある教員が、老年期分野における作業療法を実践できるようになることを目標に認知症等に対する作業療法の実施方法等について講義する科目である。	作業療法士 14年	
横山 剛		精神障害作業評価学		1	医療機関で作業療法士として勤務経験のある教員が、精神科領域における作業療法評価を実践できることを目標に精神障害作業療法の歴史や実際の方法について講義し、学生自身が評価計画を作成する科目である。	作業療法士 18年	
		精神障害作業治療学		2	医療機関で作業療法士として勤務経験のある教員の指導のもと、精神障害における各疾患、疾病、障害の特徴、精神科作業療法について、グループワークを通して学ぶ科目である。		
		精神障害作業治療学実習		1	医療機関で作業療法士として勤務経験のある教員の指導のもと、精神障害における作業療法評価を実施できるようになることを目標に、学生自身が評価計画立案を行うことを通して学ぶ科目である。		
加藤 真夕美		日常生活作業学Ⅰ		1	医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員が、作業療法を実践する上で重要な概念である日常生活活動について講義し、作業療法が対象とする各障害領域における作業療法士の役割を学ぶ科目である。	作業療法士 16年	
		日常生活作業学実習		1	医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員の指導のもと、作業療法を実践する上で重要な概念である日常生活活動について実習を通して学ぶ科目である。		
		高次脳障害作業治療学		1	医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員が、作業療法の対象となる高次脳機能障害の定義や種類、実際の作業療法の方法について講義し、学ぶ科目である。		
清水 一輝	身体障害作業治療学Ⅱ		1	医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員が、作業療法士が対象とする身体障害領域における各疾患の特徴、障害像、評価法・作業療法アプローチの基礎などについて講義し、学生自身が評価計画を立案することによって学ぶ科目である。	作業療法士 12年		
	身体障害作業治療学実習		1	医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員が身体障害領域の作業療法で用いられる検査測定方法について実習を通して学ぶ科目である。			
合計単位数			30				

2019年度専攻科リハビリテーション科学専攻主な実務家教員担当科目一覧

学科名 専攻	氏名	担当授業科目名	学科共通科目 単位数	専門科目 単位数	授業内容	資格 臨床経験年数
専攻科リハビリテーション科学専攻	宮津 真寿美	運動器系障害 リハビリテーション論	1		医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、リハビリテーションが対象とする運動障害の原因となる筋機能障害について講義し、学ぶ科目である。	理学療法士 16年
	臼井 晴信	内部疾患系障害 リハビリテーション論	1		医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員が、リハビリテーションが対象とする内部疾患の管理について講義し、学生自身が実験を行うことを通して学ぶ科目である。	理学療法士 10年
	鳥居 昭久	スポーツ障害 リハビリテーション論	1		医療機関及びスポーツ分野において理学療法士として勤務経験のある教員が、スポーツ障害とそのリハビリテーションについて講義し、学ぶ科目である。	理学療法士 25年
	加藤 真弓口	中枢神経系障害 リハビリテーション論	1		医療機関で理学療法士として勤務経験のある教員の指導のもと、運動障害が生活機能障害に及ぼす影響、障害改善のための介入方法について、事例検討を通して学ぶ科目である。	理学療法士 24年
	加藤 真夕美				医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員の指導のもと、認知機能の障害が作業遂行能力に及ぼす影響と評価手段、治療的介入の方法について事例検討を通して学ぶ科目である。	作業療法士 16年
	木村 菜穂子	地域・老年期 リハビリテーション論	1		医療機関、介護老人保健施設で理学療法士として勤務経験のある教員が、高齢期にみられる特性を講義し、そのリハビリテーションについて学生同士がディスカッションを通して学ぶ科目である。	理学療法士 18年
	山下 英美				医療機関、介護老人保健施設で作業療法士として勤務経験のある教員が、高齢期における認知機能の特性や生活行為の特徴を講義し、そのリハビリテーションについて学生同士がディスカッションを通して学ぶ科目である。	作業療法士 14年
	横山 剛	精神機能系障害 リハビリテーション論	1		医療機関で作業療法士として勤務経験のある教員が、精神障害分野における作業療法について講義を行い、学生自身が担当した患者についての心理社会的発達課題についてまとめることを通して学ぶ科目である。	作業療法士 18年
合計単位数			6			